

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 1 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2012～2016

課題番号：24406037

研究課題名(和文)高齢者ケアの質保証を推進する国際比較研究

研究課題名(英文) International comparison research to advance the securement of care quality for the elderly

研究代表者

グライナー 智恵子 (Greiner, Chieko)

神戸大学・保健学研究科・教授

研究者番号：20305270

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、日本、タイ王国、スウェーデンにおいて急性期病院に勤務する看護師の高齢患者や認知症患者に対するケアの現状及び看護大学生の高齢者に対する認識調査を実施した。日本とタイ王国については、在宅で高齢者を介護する家族介護者についての状況調査も実施した。

タイ王国の看護師は、日本の看護師と比較しより認知症患者の状況を配慮した関わりを行っていると認識していた。看護大学生に対する調査では、最も高齢者に対し肯定的・否定的認識が高かったのはタイの看護大学生であり、最も低かったのは日本の看護大学生であった。家族介護者に対する調査では、タイ王国の家族介護者の方がより安定した介護状況にあることが示唆された。

研究成果の概要(英文)： Three kinds of survey were conducted in this study. A survey of nursing care for elderly patients and patients with dementia at acute hospitals, and a survey of attitude toward elderly people among undergraduate nursing students were conducted in Japan, Thailand, and Sweden. In addition, a survey on caring condition for family caregivers taking care of the elderly was conducted in Japan and Thailand.

The results show that nurses in Thailand give more consideration to their care for patients with dementia than do those in Japan. As for the nursing students' survey, students having the most positive and negative attitudes toward elderly people were Thai students and students having the least positive and negative attitudes were Japanese students. The results for the survey of family caregivers suggest that family caregivers in Thailand have a more stable situation than those in Japan.

研究分野：老年看護学

キーワード：高齢者 国際比較 タイ スウェーデン 急性期病院 認知症 看護大学生 在宅介護

1. 研究開始当初の背景

日本の高齢化率は現在 24%であるが、今後とも上昇を続け 2060 年には 40%になると予測されている(高齢社会白書, 2013)。中でも後期高齢者の占める割合が増大することから、今後の超高齢化社会を見据えた持続可能な医療・福祉制度の確立は喫緊の課題となっている。

タイ王国は、日本が経験した以上の速さで高齢化が進んでいくと予測されている。日本の高齢化率が 7%から 14%に達した倍加年数は 24 年(1970-1994 年)であるのに対し、タイ王国は 22 年(2001-2023 年)と予測されており(大泉, 2007)、日本の辿ってきた道を更に速いスピードで今現在進んでいる状況にある。タイ王国は現在、国家的戦略として福祉施設サービスの提供や高齢者ケアに関わる人材開発などが実施されてきているが、その充足率は低く、今後も家族がその役割を担っていくことが予想される。したがって、日本と同様に在宅ケアや家族介護者への支援が重要な課題となっていくであろう。

一方、スウェーデンは、スウェーデン・モデルという言葉があるように、世界の福祉国家におけるひとつのモデルとして認められてきた。したがって、スウェーデンは、少子・高齢化問題への対応策を考える上で参考になるひとつのフロンティア国家とも言えるであろう。

今後急速な高齢化を迎えるタイ王国、そして日本以前に高齢化社会を迎えながら福祉国家として歩んできたスウェーデン、この 2 国を対象に、その中間に位置するとも考えられる日本を検討することは、過去を再考し、未来における持続可能な社会を構築していく上で重要な示唆を得ることが期待できる。

2. 研究の目的

本研究の目的は以下の 3 点である。

(1) 急性期病院における高齢患者と認知症患者に対する看護ケアについて比較検討し、高齢者及び認知症看護の質向上に向けた示唆を得る (Project 1)

(2) 看護大学生が高齢者をどのように捉えているかとその影響要因を比較検討し、高齢者看護教育及び学生交流の在り方を検討する (Project 2)

(3) 家族介護者の現状とその相違を明らかにし、今後の家族介護者への新たな支援方法を開発するための基礎資料とする (Project 3)

3. 研究の方法

本研究は、自記式質問紙(対象者の状況により一部聞き取り)を用いた調査研究である。研究実施に先駆け、文献や統計データ等を基に共同研究者間で各国における高齢者の現状について共通理解を図った。

はじめに日本の研究者が調査の枠組みと質問紙のドラフトを作成した。これらを英語に

翻訳しネイティブチェックを受けた上でタイ王国とスウェーデンの共同研究者と意見交換を行い、3 カ国共通の質問紙を完成させた。次に日本において予備調査を実施し、最終版を完成させた。これを業者委託によりタイ語とスウェーデン語に翻訳し、共同研究者に英語版とタイ語版の質問内容の同一性を確認した。また、タイ語版については、タイ語に精通した共同研究者にタイ語版と日本語版の同一性についても確認を行った。なお、Project 2 においては、スウェーデンの大学生に対する質問紙調査は英語版で実施した。

Project 1 の対象者は急性期病院に勤務する看護師、Project 2 の対象者は看護系大学に通う大学生、Project 3 の対象者は在宅で高齢者を介護する家族介護者であった。

本研究は、研究代表者の所属する研究機関の倫理審査委員会による承認を得てから実施した。タイ王国とスウェーデンにおける倫理審査に関しては、各国の基準に従って対応した。

4. 研究成果

Project 1 と 2 については 3 カ国、Project 3 については日本とタイ王国において調査を実施した。

Project 1: 対象者の地域特性を考慮し、日本は関東圏、タイ王国はバンコク、スウェーデンはストックホルムにおいてデータ収集を行った。有効回答者数はそれぞれ 362 名、200 名、36 名であった。データ数を考慮し比較分析はタイと日本において実施した。

対象者の平均年齢は日本が 35.1 歳、タイ王国は 35.0 歳であった。

分析の結果、タイ王国の看護師は日本の看護師と比較して、より患者の尊厳、疼痛、BPSD、家族への支援を考慮したケアを実践していることを認識していた。また、認知症患者に対するケアの満足度も高かった。一方、日本の看護師はタイ王国の看護師よりも認知症患者へのケアに対してより苛立ちを感じ、認知症患者へのケアに困難さを感じている現状にあった。しかし、認知症患者へのケアに関する興味は日本の看護師の方がタイ王国の看護師より高かった。また、日本の看護師はタイの看護師よりも認知症患者に関する研修を受けたいと思っているが、CNS など専門の資格を得たいと考える看護師はタイと比較し少ない状況であった。これはタイ王国の回答者全員が短大あるいは大学卒であるのに対し、日本の回答者の 57.5%が専門学校卒であったことも影響していると考えられる。

スウェーデンにおける回答者の平均年齢は 37.2 歳で、認知障害高齢者の看護で困難が大いにある看護師は 33.3%、認知障害高齢者の看護で困難を呈した場合は、医療チームに相談が 38.9%、病棟主治医に相談が 33.3%であった。在宅ケアにつなげる支援として入院中の患者の家族の不安や要望に対応している

のは 66.7%、家族と情報共有しているのは 58.4%であった。在宅医療を中心として施策を行っているスウェーデンでは、入院中から家族との連携・連絡を密にとりスムーズに退院後も在宅で生活ができるような支援を整えてきたことが示唆された。

Project 2：有効回答者数は、日本の看護大学生 346 名、タイ王国の看護大学生 415 名、スウェーデンの看護大学生 65 名、日本の他学部生 201 名であった。

Kogan スケール(肯定的認識 17 項目、否定的認識 17 項目)を用い、高齢者に対する認識について 3 カ国比較を行った。分析の結果、肯定的認識、否定的認識共に 3 カ国間で有意差が認められた。多重比較を行った結果、肯定的認識、否定的認識共に各 2 か国間全てに有意差が認められた。最も高齢者に対し肯定的認識及び否定的認識が高かったのはタイ王国の看護大学生であり、最も低かったのは日本の看護大学生であった。

タイ王国と日本においては、介護への考え方、家族や性差に対する価値観についての調査も実施した。タイの看護大学生は日本の看護大学生より、介護は社会がサポートすべきである、介護は家族で行うべきである、介護者は自分の生活を優先すべきである、といった考えが日本より有意に高かった。一方、できるだけ社会資源を使うべきである、という考えは日本の看護学生の方がタイ王国の看護学生より有意に高かった。また、先祖を尊ぶべきである、年上の人意見に従う、男性と女性は社会において異なった役割を担うべきである、とう考えが日本と比較しタイ王国は有意に高かった。

Project 3：日本は関東・近畿・東海地方において、タイ王国はチェンマイの 3 地区においてデータ収集を行った。有効回答者数は日本が 114 名、タイ王国は 103 名であった。

日本とタイの比較を行った結果、精神的にも身体的にもタイ王国の家族介護者の方が有意に健康であると回答していた。特に日本と比較して介護負担や孤独感を感じる程度が低かった。また、タイ王国の家族介護者の方が社会的な関係性を保っており、私的なサポートを受けている状況が明らかとなった。

日本では介護保険制度が導入され、公的なサポートはタイ王国よりも充実していると考えられる。しかし、本調査の結果では、タイ王国の家族介護者の方がより安定した介護状況にあることが示唆された。このことから、日本の家族介護者の健康や心身の安寧を高めていくには、社会的なつながりや私的なサポート等、コミュニティのつながりを充実させていくことが必要であると考えられた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表](計 13 件)

Chieko Greiner, Decha Tamdee, Nahoko Okamoto, Patrapan Tamdee, et al.: Comparison Survey on Family Caregivers of Elderly People in Thailand and Japan, IAGG 2017 World Congress. 2017.7.23-27. San Francisco (USA).

グライナー智恵子、岡本菜穂子、磯和勅子、龍野洋慶、北川亜希子、大石朋子、馬場雄司：在宅で高齢者を介護する家族介護者の精神的健康と介護継続意志に影響する要因の検討．日本老年看護学会第 22 回学術集会．2017.6.14-16．名古屋国際会議場（愛知県・名古屋市）

Chieko Greiner, Supreeda Monkong, Tomoko Oishi, Porntip Malathum, et al.: Comparison of nursing care at acute hospitals between Thailand and Japan, 32nd International Conference of Alzheimer's Disease International. 2017.4.27-29. Kyoto International Conference Center (Kyoto Pref. Kyoto City).

大石朋子、グライナー智恵子、岡本菜穂子：日本の看護大学生の高齢者に関する認識の比較．第 36 回日本看護科学学会学術集会．2016.12.10-11．東京国際フォーラム（東京都・千代田区）．

グライナー智恵子、大石朋子：高齢者に関する看護大学生の認識：タイと日本の比較．第 42 回日本看護研究学会学術集会．2016.8.20-21．つくば国際会議場（茨城県・つくば市）．

Chieko Greiner, Takigawa Saho, Fukase Tomoe, Oishi Tomoko, Okamoto Nahoko: University students' attitude toward elderly people, 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.3.14-15 Makuhari Messe International Conference Hall (Chiba Pref. Chiba City)

Haruna Tanaka, Chieko Greiner, Kana Okazaki, Motoko Kita, Tomoko Oishi, Tokiko Isowa, Spreeda Monkong, Porntip Malathum: Challenges in Geriatric Nursing Identified by Nurses Working in Acute Care Hospitals: Comparing Thailand and Japan, 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016.3.14-15 . Makuhari Messe International Conference Hall (Chiba Pref. Chiba City)

岡本菜穂子、グライナー智恵子、Eva Strauss, Stephanie Paillard Borg, 磯和勅子、大石朋子、北素子、Supreeda Monkong,

東浦洋: The conditions of elderly care with cognitive impairment at acute care hospitals in Sweden, 第30回日本国際保健医療学会, 2015.11.21-22. 金沢大学角間キャンパス 自然科学本館 (石川県 金沢市)

Chieko Greiner, Tokiko Isowa, Tomoko Oishi, Motoko Kita, Hiroshi Higashiura: Investigation of factors related to nursing care for patients with dementia at acute hospitals in Japan, STTI 26th international nursing research congress, 2015.7.23-27. San Juan (Puerto Rico)

Chieko Greiner, Spreeda Monkong, Motoko Kita, Tomoko Oishi, Tokiko Isowa, Hiroshi Higashiura: Nurses' experiences with and interests in patients with cognitive impairment in acute hospitals: comparison between Thailand and Japan, The 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2015.2.5-6. Taipei (Taiwan)

Haruna Tanaka, Chieko Greiner: Self-conceptions of Solitary Seniors Living at Home – a Concept Analysis, The 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2015. 2015.2.5-6. Taipei (Taiwan)

Mayumi Sakamoto, Chieko Greiner, Nahoko Okamoto, Tomoko Oishi: International trend in attitudes toward older people among healthcare and welfare students: a literature review, The 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2015. 2.5-6. Taipei (Taiwan)

Chieko Greiner, Motoko Kita, Tomoko Oishi: Condition of Care for Patients with Dementia at Acute Hospitals in Japan: Comparison with Care for Elderly Patients and Analysis of the Effect of Dementia Study Experience, The Gerontological Society of America's 67th Annual Scientific Meeting, 2014.11.5-9. Washington, D.C. (USA)

〔その他〕

Chieko Greiner, Tomoko Oishi, Tokiko Isowa, Motoko Kita, Hiroshi Higashiura, Spreeda Monkong, Porntip Malathum, Prakong Intarasombat: Survey on Nursing Care for Elderly Patients and Patients with Cognitive Impairment in Acute Hospitals: Comparison between Japan and Thailand. Grant-in-Aid for Scientific Research (B), Overseas Academic Research report, 2017.

Chieko Greiner, Porntip Malathum,

Nahoko Okamoto, Spreeda Monkong, Tomoko Oishi, Mayumi Sakamoto, Nuchanad Jeangsawang: Survey on Attitude toward Elderly People of Nursing Students: Comparison between Japan and Thailand, Grant-in-Aid for Scientific Research (B), Overseas Academic Research report, 2016.

グライナー 智恵子, 岡本 菜穂子, 大石 朋子, 坂元 眞由美: 高齢者に関する意識調査 大学生の学部間比較、科学研究費補助金 基盤研究(B)海外学術調査報告書、2016.

Chieko Greiner: Evidence-based practice for elderly care in a community setting, International Joint Conference on Nursing Science, Keynote speaker, 2015.

Chieko Greiner, Stéphanie Paillard-Borg, Spreeda Monkong, Motoko Kita, Tokiko Isowa, Tomoko Oishi, Hiroshi Higashiura, Nahoko Okamoto: Survey to understand current conditions for elderly people in Japan, Sweden and Thailand, Grant-in-Aid for Scientific Research (B) report 2013, 2013.

Chieko Greiner: Nursing Research in Japan Issues in nursing research topics and methodologies; Barriers and strategies in nursing research in Japan, International Conference by Korean Society of Adult Nursing, Nursing Theory and Research for Practice: Beyond the Borders, 22-28, Keynote speaker, 2013.

ホームページ
<http://www2.kobe-u.ac.jp/~green/achievement.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

グライナー 智恵子 (GREINER, Chieko)
神戸大学・大学院保健学研究科・教授
研究者番号: 20305270

(2) 研究分担者

岡本 菜穂子 (OKAMOTO, Nahoko)
上智大学・総合人間科学部・准教授
研究者番号: 30553565

磯和 勅子 (ISOWA, Tokiko)
三重大学・医学系研究科・教授
研究者番号: 30336713

大石 朋子 (OISHI, Tomoko)
東京情報大学・看護学部・講師
研究者番号: 40413257

東浦 洋 (HIGASHIURA, Hiroshi)
元日本赤十字看護大学・看護学部・教授
研究者番号：00468886

馬場 雄司 (BABA, Yuji)
京都文教大学・総合社会学部・教授
研究者番号：10238230

坂元 眞由美 (SAKAMOTO, Mayumi)
園田学園女子大学・健康科学部・教授
研究者番号：10437444

(3)連携研究者

北 素子 (KITA, Motoko)
東京慈恵会医科大学・医学部・教授
研究者番号：80349779

(4)研究協力者

Supreeda Monkong
Mahidol University

Porntip Malathum
Mahidol University

Prakong Intarasombat,
Mahidol University

Nuchanad Jeangsawang
Mahidol University

Decha Tamdee
Chiang Mai University

Patrapan Tamdee
Chiang Mai University

Waraporn Boonchiang
Kasatesart University

Eva von Strauss
The Red Cross University College

Stéphanie Paillard-Borg
The Red Cross University College